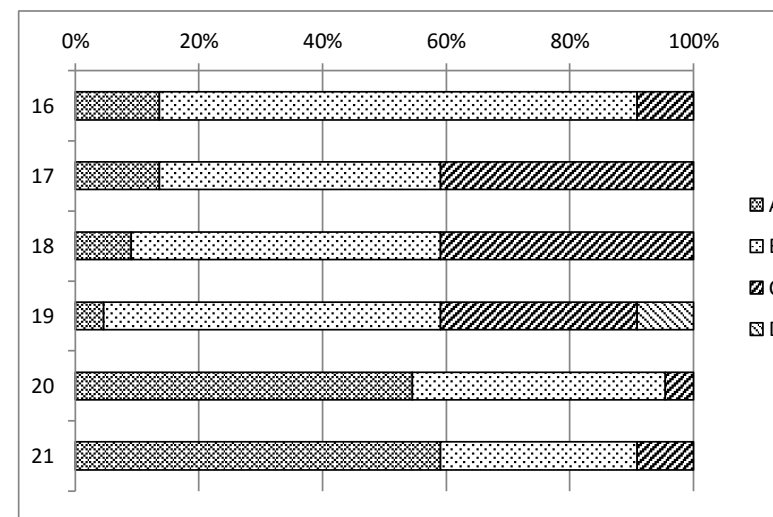
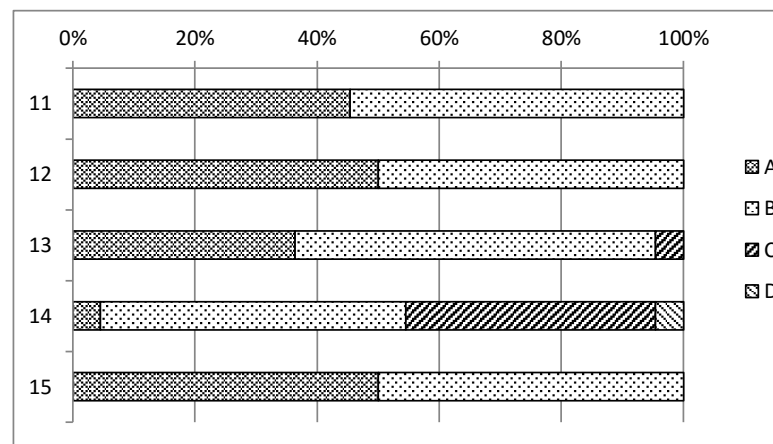
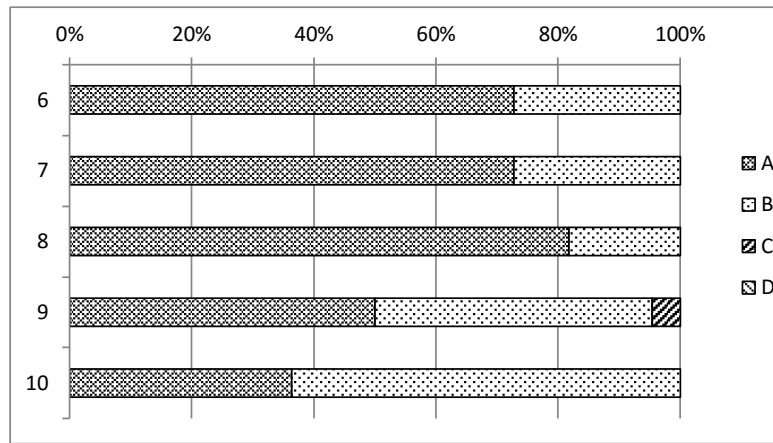
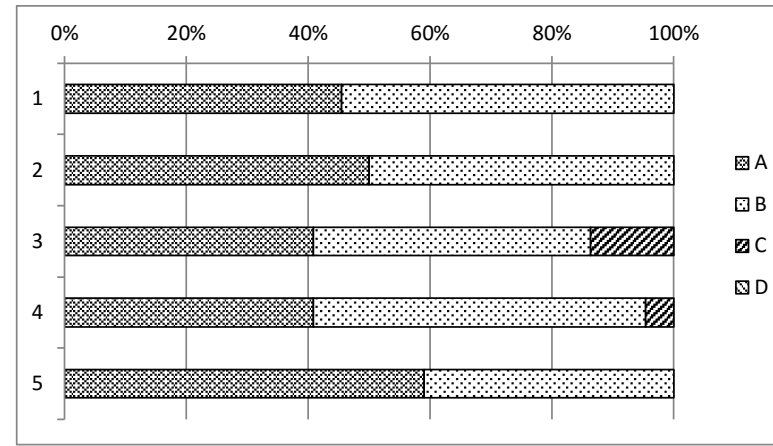


令和元年度「よりよい学校づくりアンケート」学校評価アンケート結果(職員アンケート)

回答者数:22名

		A	B	C	D	合計
1	学校は、教育目標や方針、活動をわかりやすく伝えている。	10	12	0	0	22
		45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	100.0%
2	学校は、様々な行事や体験を通じて、児童の「生きる力」を伸ばそうと努力している。	11	11	0	0	22
		50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
3	学校は、施設・設備の安全管理や校舎内外の美化等、教育環境の整備に努めている。	9	10	3	0	22
		40.9%	45.5%	13.6%	0.0%	100.0%
4	学校は、保護者や地域の期待に応える教育活動を行おうと努めている。	9	12	1	0	22
		40.9%	54.5%	4.5%	0.0%	100.0%
5	学校は、いじめのない学校づくりに努めている。	13	9	0	0	22
		59.1%	40.9%	0.0%	0.0%	100.0%
6	学校は、保護者や地域の方々に学習や行事を参観する場を設けている。	16	6	0	0	22
		72.7%	27.3%	0.0%	0.0%	100.0%
7	学校は、学校だより等で家庭や地域へ、情報を積極的に提供している	16	6	0	0	22
		72.7%	27.3%	0.0%	0.0%	100.0%
8	学校は、栄養のバランスや食の安全に配慮して、給食を提供するなど、健康の保持増進を図っている。	18	4	0	0	22
		81.8%	18.2%	0.0%	0.0%	100.0%
9	学校は、読書活動を充実しようと努めている。	11	10	1	0	22
		50.0%	45.5%	4.5%	0.0%	100.0%
10	教職員は、来校者や電話に対して親切でいねいに対応している。	8	14	0	0	22
		36.4%	63.6%	0.0%	0.0%	100.0%
11	教員は、子どもをよく理解し、相談・支援・指導を適切に行っている。	10	12	0	0	22
		45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	100.0%
12	教員は、熱心に授業に取り組み、適切に評価している。	11	11	0	0	22
		50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
13	子どもは、学校に楽しく通っている。	8	13	1	0	22
		36.4%	59.1%	4.5%	0.0%	100.0%
14	子どもは、学習内容をよく理解している。	1	11	9	1	22
		4.5%	50.0%	40.9%	4.5%	100.0%
15	子どもは、学校行事や学習活動に積極的に参加している。	11	11	0	0	22
		50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
16	子どもは、思いやりの心を持って人に接している。	3	17	2	0	22
		13.6%	77.3%	9.1%	0.0%	100.0%
17	子どもは、公共の場でのマナーが守れている。	3	10	9	0	22
		13.6%	45.5%	40.9%	0.0%	100.0%
18	子どもは、挨拶・時間を守ること・正しい言葉遣いができている。	2	11	9	0	22
		9.1%	50.0%	40.9%	0.0%	100.0%
19	子どもは、自分から宿題や家庭学習を行っている。	1	12	7	2	22
		4.5%	54.5%	31.8%	9.1%	100.0%
20	夜間休日の自動音声電話対応の導入によって、緊急時連絡が市役所への電話となったが、それについて困ったことはない。	12	9	1	0	22
		54.5%	40.9%	4.5%	0.0%	100.0%
21	今年度、家庭訪問を家庭確認に代え、教育相談としたが、不都合は生じなかった。	13	7	2	0	22
		59.1%	31.8%	9.1%	0.0%	100.0%



・学校経営の中で、高く評価している点は、以下の点である。
(A評価が75%を超え、且つ95%以上肯定的なもの)
①問8 学校給食及び健康の保持増進

・学校経営の中で、さらに努力が必要であると感じている点は、以下の点である。
①問3 施設・設備の安全管理や美化、教育環境の整備
②問4 保護者や地域の期待に応える教育活動

問8について、「学校給食及び健康の保持増進」に関して教職員間で共通理解を図ってきた。アレルギー対応やエビペンの使用法に関する研修会を行い、学校全体で事故防止に努めている。昨年度、高く評価している点に挙がっていた問7「学校だより等での家庭や地域への情報提供」と問10「来校者、電話に対しての丁寧な対応」の項目が、今年度は入ってこなかった。これは、「肯定的な評価」の総数は変わらなかったものの、A評価75%に達していないためである。今後は、さらに「より充実した情報発信が可能なシステム作り」や「接遇スキル」の向上を目指していきたい。
問3について、今年度はプール内の放送用スピーカーの撤去や老木の伐採、台風による樹木を中心とする被害など、突発的に対応を要することが多かった。また、環境美化に関してマンパワー不足が深刻であることが、努力を必要とする評価につながったように推察する。来年度は外部のボランティアやPTAともより連携を図り、環境美化活動が軌道にのるように努力していきたい。問4について、1000ヶ所教育ミニ集会等の場において、保護者や地域の方々が学校にどのような思いを持っているのかを語り合い知ることができた。今後も、そういった機会を生かして保護者や地域の期待に応える教育活動を推進していきたい。

・教職員が感じている子どもの課題は、以下の4点である。
①問14 学習内容の理解
②問17 公共の場でのマナー
③問18 挨拶・時間を守る・正しい言葉遣い
④問19 自主的な宿題や家庭学習への取り組み

外部評価と共通する項目が、教職員による評価にも挙げられている。
問17「公共の場でのマナー」、問18「挨拶・時間を守る・正しい言葉遣い」について、外部評価では「向上が見られるも、物足りなさを感じる」と読み取れるが、職員も問題意識は高い。あいさつ運動などの児童による自治的啓発活動の充実を図り、道徳教育や道徳の授業を通しての指導も推進し、向上を目指したい。問14「学習内容の理解」について、今年度も職員間で学力向上のための議論を重ね、共通理解を図り指導をしてきた。「書く力」や「書くことへの意欲」などは一定の成果を上げている。しかし、まだ伸びていく余地があると感じている職員が多い。来年度も、学力向上のために何が必要かを話し合い、全職員が同じベクトルで取り組み、学力向上を目指したい。問19「自主的な宿題や家庭学習への取り組み」は、適切で効果的な宿題を課す必要がある。学年で精査することとともに、発達段階や系統性を鑑みた全学年を見通した内容を吟味することも必要である。また、家庭の協力も必要不可欠となる。より積極的に発信していきたい。